

XDCAM Drive Utility Software

ヘルプ

PDW-U1
PDW-U2

XDCAM Drive Utility Software について

概要

本ソフトウェアは、PDW-U1 または PDW-U2 に接続したコンピューター上で、PDW-U1 または PDW-U2 に対して以下の機能を実行することができます。

- 機器およびディスク情報の表示
- ディスクのフォーマット
- ファームウェアの更新
- ディスクのファイナライズ（PDW-U2 で 4 層 Write-Once ディスク（以下、4 層 WO ディスク）を使用している場合）
- 各種の設定

関連マニュアル

オペレーションマニュアル

PDW-U1 または PDW-U2 に付属のマニュアルです。

PDW-U1 または PDW-U2、および付属のソフトウェアの使いかたについて説明しています。

最新版ソフトウェアについて

本ソフトウェアを使用する際は、ソニープロフェッショナル / 業務用製品サイトから最新版をダウンロードしてお使いください。

ソニープロフェッショナル / 業務用製品サイト ホームページ：

アメリカ合衆国 <http://pro.sony.com>

カナダ <http://www.sonybiz.ca>

ラテンアメリカ <http://sonypro-latin.com>

ヨーロッパ、中東、アフリカ <http://www.pro.sony.eu>

日本 <http://www.sonybsc.com>

アジア <http://pro.sony-asia.com>

韓国 <http://bp.sony.co.kr>

中国 <http://pro.sony.com.cn>

起動と終了

起動する

あらかじめ PDW-U1 または PDW-U2 とコンピューターを接続しておきます。

接続については、オペレーションマニュアルをご覧ください。

デフォルトでは、ログイン時に XDCAM Drive Monitor が自動起動に設定されます。以下のどちらかの方法で XDCAM Drive Utility のコンソールウィンドウを開くことができます。

- メニューバーの XDCAM Drive Monitor アイコンをクリックし、表示されるメニューの「ユーティリティを起動する」を選択する。
- 本ソフトウェアをインストールしたフォルダーを開き、「XDCAMDriveUtility」をダブルクリックする。

環境設定で、XDCAM Drive Monitor が自動起動しないように設定できます。この場合は、本ソフトウェアをインストールしたフォルダーを開き、「XDCAM Drive Monitor」をダブルクリックすることで XDCAM Drive Monitor を起動できます。

通知ダイアログについて

XDCAM Drive Monitor を起動しているときは、以下の条件で表示される通知ダイアログから、関連する操作に必要な画面を直接起動できます。

通知ダイアログが表示される条件

- PDW-U1 または PDW-U2 に、フォーマットされていないディスクを挿入した場合
- PDW-U1 または PDW-U2 のファームウェアのバージョンが、本ソフトウェアのバージョンより低い場合
- ファイル書き込みエラーが発生した場合
- PDW-U1 または PDW-U2 にハードエラーが発生して、アラームコードが出ている場合


ヒント

通知ダイアログの表示位置は、XDCAM Drive Monitor の環境設定で変更できます。

終了する

コンソールウィンドウを閉じるには

コンソールウィンドウを閉じる場合は、以下のいずれかを実行します。この場合、起動中の XDCAM Drive Monitor は終了しません。

- ウィンドウ右上の  (閉じる) ボタンをクリックする。
- メニューバーをクリックして表示されるメニューから「XDCAM Drive Utility を終了」を選択する。
- 本ソフトウェアが選択された状態で、Command + Q キーを押す (Command キーを押したまま Q キーを押す)。

起動中の XDCAM Drive Monitor を終了するには

起動中の XDCAM Drive Monitor を終了するには、メニューバーの XDCAM Drive Monitor アイコンをクリックし、表示されるメニューの「XDCAM Drive Monitor を終了」を選択します。この場合、通知ダイアログは表示されなくなります。

ヒント

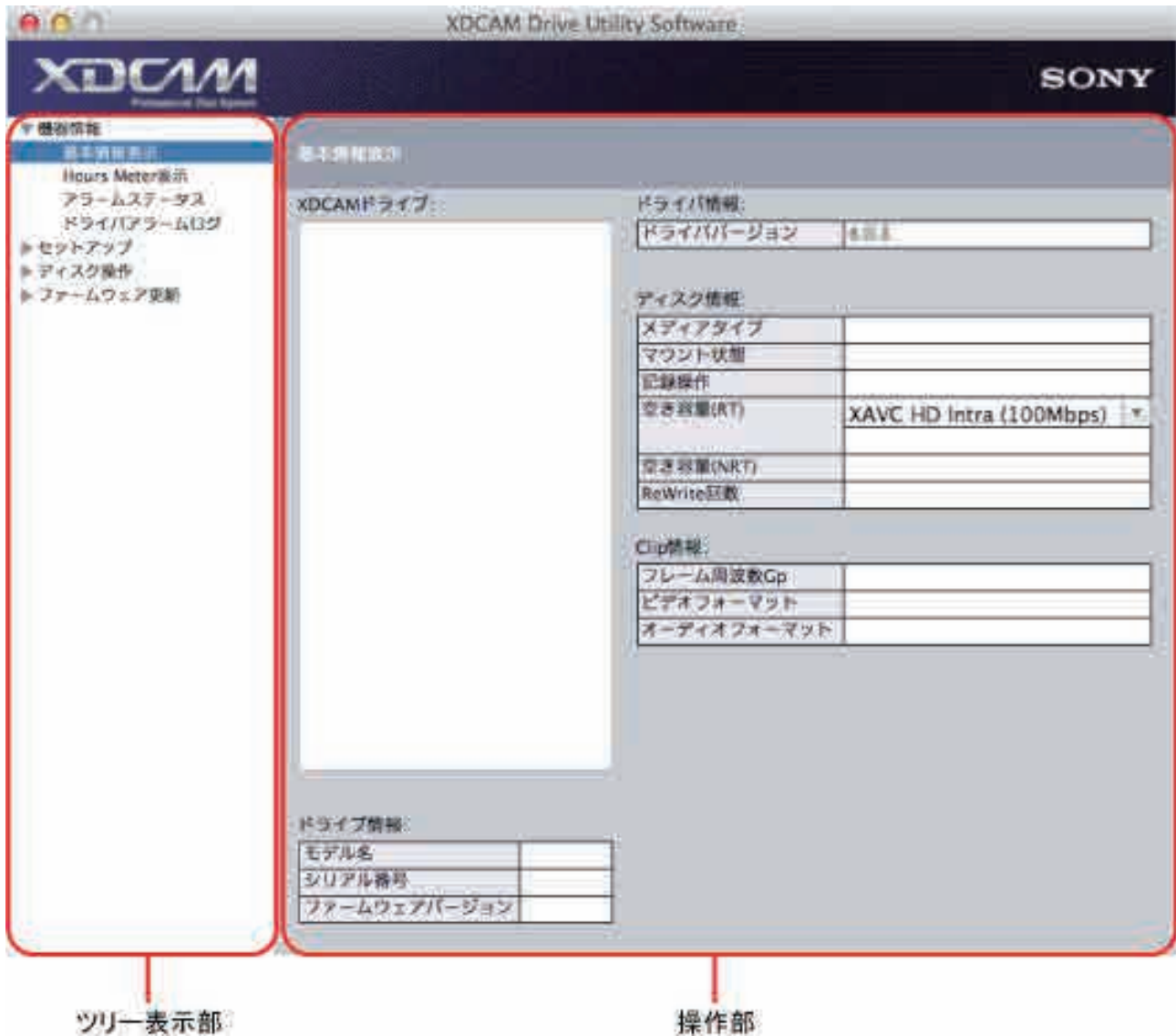
XDCAM Drive Monitor を終了すると、異常ディスクの自動修復は行われなくなりますが、ボリューム修復画面より手動で修復できます。

関連項目

環境設定

各部の名称と働き

それぞれの名称をクリックすると、説明が表示されます。



ツリー表示部

PDW-U1 および PDW-U2 に関する機能メニューがツリー形式で表示されます。

メニュー名の左側の▶をクリックすると、その下の階層のメニュー項目が展開表示され、▶は▼表示に変わります。(▼をクリックすると、展開表示されている項目が折りたたまれます。)

メニュー項目をクリックすると、該当する操作画面が操作部に表示されます。

ツリー表示部には、以下の機能メニューが用意されています。

- 機器情報メニュー
 - 基本情報表示
 - Hours Meter 表示
 - アラームステータス
 - ドライバアラームログ
- セットアップメニュー

- ユーザー設定
- ディスク操作メニュー
 - ボリューム修復
 - フォーマット
 - ファイナライズ
- ファームウェア更新メニュー
 - ファームウェア更新

操作部

ツリー表示部で選択した機能の操作画面が表示されます。

環境設定

XDCAM Drive Monitor の起動や、通知ダイアログの表示に関する環境設定ができます。

環境設定を行うには

次の方法で XDCAM Drive Monitor の環境設定ダイアログを開きます。

- メニューバーの XDCAM Drive Monitor アイコンをクリックし、メニューから「XDCAM Drive Monitor」環境設定を開く」を選択する
- メニューバーの Apple アイコンをクリックし、「システム環境設定」をクリックし、表示される画面の「XDCAM Drive Monitor」をクリックする

設定項目について

アプリケーションパス

XDCAM Drive Monitor がインストールされているフォルダーのパスが表示されます。

パスを選択

XDCAM Drive Monitor をデフォルトの保存場所から別のフォルダーに移動した場合に、このボタンをクリックして表示される画面でパスを選択できます。

ログイン時に Monitor を自動起動する（ユーザ単位）

このチェックボックスをオフにすると、コンピューターにログインしたときに XDCAM Drive Monitor を自動的に起動しないようになります。

Monitor を終了 / Monitor を起動

[Monitor を終了] ボタンをクリックすると、起動中の XDCAM Drive Monitor を終了できます。XDCAM Drive Monitor を終了しているときは、ボタン名が [Monitor を起動] になり、クリックして XDCAM Drive Monitor を起動できます。

ヒント

XDCAM Drive Monitor を終了すると、異常ディスクの自動修復は行われなくなりますが、ボリューム修復画面より手動で修復できます。

通知ダイアログの設定

通知ダイアログの表示に関する以下の設定ができます。

表示時間

通知ダイアログを表示する時間を選択します。

サイズ

通知ダイアログの大きさを選択します。

表示開始位置

通知ダイアログの表示位置を選択します。

ダイアログ表示レイアウト

通知ダイアログの表示方法を選択します。

テスト

設定した内容で通知ダイアログのテスト表示をします。

標準に戻す

このダイアログのすべての設定項目をデフォルトに戻します。

関連項目

起動と終了

各操作画面の機能

基本情報表示画面（機器情報メニュー）

PDW-U1 または PDW-U2 に関する以下の情報が表示されます。

XDCAM ドライブ

接続されている PDW-U1 または PDW-U2 のモデル名、シリアル番号が表示されます。リストの一番右には、Eject アイコンが表示されます。

ここで選択した PDW-U1 または PDW-U2 について、ハードウェアに関する情報が下側に、ドライバーソフトウェアのバージョン情報や挿入されているディスクの情報、ディスクに収録されているクリップの情報などが右側に表示されます。

ドライブ情報

項目名	表示内容
モデル名	選択されているドライブの名称（PDW-U1 または PDW-U2）
シリアル番号	選択されている PDW-U1 または PDW-U2 のシリアル番号
ファームウェアバージョン	選択されている PDW-U1 または PDW-U2 のファームウェアバージョン

ドライバ情報

項目名	表示内容
ドライババージョン	現在インストールされているドライバーのバージョン

ディスク情報

挿入されたディスクの種類	項目名	表示内容
共通	メディアタイプ	選択されている PDW-U1 または PDW-U2 に挿入されているディスクの種類
	マウント状態	選択されている PDW-U1 または PDW-U2 のマウント状態（ディスクの状態を含む）
	記録操作	選択されている PDW-U1 または PDW-U2 の書き込みの可否。書き込みできない場合はその理由

挿入されたディスクの種類	項目名	表示内容
Rewritable ディスク (またはディスク未挿入)	空き容量 (RT)	リアルタイムデータ (MXF ファイル) の記録可能容量 (時分単位)。選択したオペレーティングポイントに応じて以下のクリップの記録可能容量を計算 <ul style="list-style-type: none"> • DVCAM (25Mbps) : DVCAM 59.94i 4ch 16bit • IMX (50Mbps) : IMX50 59.94i 8ch 16bit • MPEG HD (35Mbps) : MPEG HD 59.94p 4ch 16bit • MPEG HD422 (50Mbps) : MPEG HD422 59.94p 8ch 24bit • XAVC HD Intra (100Mbs) : XAVC HD Intra Class100 59.94i 8ch 24bit
	空き容量 (NRT)	ノンリアルタイムデータ (MXF 以外のファイル) の記録可能容量 (バイト単位)
	ReWrite 回数	ディスクへの書き込み回数
4 層 WO ディスク	空き容量 (時間)	記録可能容量 (時分単位)
	空き容量 (サイズ)	記録可能容量 (バイト単位)
	追記リソース	ディスクに追記可能な空き領域のめやす <ul style="list-style-type: none"> • なし : ディスクに追記可能な空き領域がない (追記できない) 状態 • 残少 : ディスクに追記可能な空き領域の残りが少ない状態 • 充分 : ディスクに追記可能な空き領域が充分にある状態

Clip 情報

項目名	表示内容
フレーム周波数 Gp	ディスクに記録されているクリップのフレーム周波数グループ。以下の3つのいずれかが表示される。 50 Hz [50i, 25p, 50p]、59.94 Hz [59.94i, 29.97p, 59.94p]、23.98 Hz [23.98p]

項目名	表示内容
ビデオフォーマット	<p>選択している PDW-U1 または PDW-U2 に挿入されているディスクのビデオフォーマット。</p> <p>以下のビデオタイプとシステム周波数の組み合わせが表示される。(例：IMX50-625/50i)</p> <p>ビデオタイプ：IMX30、IMX40、IMX50、DVCAM、HD422、HD420、XAVC Intra 100 (これらにあてはまらない場合は「---」が表示される。)</p> <p>システム周波数：625/50i、525/59.94i、1080/23.98p、1080/25p、1080/50i、1080/59.94i、1080/29.97p、1080/23.98p、540/23.98p、720/59.94p、720/50p (これらにあてはまらない場合は「---/---」が表示される。)</p> <p>混在記録の場合は「MIXED」が表示される。ただし、XAVC と MPEG HD/IMX/DV の混在はできない。</p>
オーディオフォーマット	<p>選択している PDW-U1 または PDW-U2 に挿入されているディスクのオーディオフォーマット。</p> <p>以下のチャンネルとオーディオタイプの組み合わせが表示される。(例：8ch 16bits LPCM)</p> <p>チャンネル：2ch、4ch、8ch</p> <p>オーディオタイプ：16bits LPCM、24bits LPCM、16bits NonLPCM、24bits NonLPCM (これらにあてはまらない場合は「---」が表示される。)</p> <p>混在記録の場合は「MIXED」が表示される。</p>

ご注意

- クリップが存在しないディスクが挿入されている場合は、フレーム周波数 Gp、ビデオフォーマット、およびオーディオフォーマットの欄に「ANY」と表示されます。
- 次のような場合、フレーム周波数 Gp、ビデオフォーマット、およびオーディオフォーマットの欄に「---」と表示されます。
 - ディスクが未挿入または正しく挿入されていない場合
 - 本機が対応していないディスクが挿入された場合
 - エラーなどによりディスクの認識ができなかった場合
- ユーザー設定画面での「混在記録を禁止する」の設定に関わらず、混在記録されたディスクが挿入された場合は、ビデオフォーマットの欄に「MIXED」と表示されます。
- 同じビデオフォーマットのクリップでも、オーディオフォーマットが異なるクリップは別のフォーマットとして扱われます。
- ビデオタイプがビットレートの違いのみの場合は、同じビデオフォーマットとして扱われます。

最新の情報に更新するには

表示メニューから「更新」を選択します。

関連項目

Hours Meter (デジタル時間計) 表示画面

アラームステータス画面

ドライバアラームログ画面

Hours Meter (デジタル時間計) 表示画面 (機器情報メニュー)

PDW-U1 または PDW-U2 の動作の経過時間または回数が累積して表示されます。この時間計を定期点検の目安として、ご利用ください。なお、定期点検はソニーのサービス担当者にご相談ください。

XDCAM ドライブ

接続されている PDW-U1 または PDW-U2 のモデル名、シリアル番号が表示されます。リストの一番右には、Eject アイコンが表示されます。

ここで選択した PDW-U1 または PDW-U2 について、ハードウェアに関する情報が下側に、動作の経過時間または回数が累積して右側に表示されます。

ドライブ情報

項目名	表示内容
モデル名	選択されているドライブの名称 (PDW-U1 または PDW-U2)
シリアル番号	選択されている PDW-U1 または PDW-U2 のシリアル番号
ファームウェアバージョン	選択されている PDW-U1 または PDW-U2 のファームウェアバージョン

Hours Meter

項目名	表示内容
Operation Hours	PDW-U1 または PDW-U2 に電源が投入されている時間の累積 (1 時間単位)
Laser Parameter	オプティカルヘッドの光出力時間の累積
Seek Running Hours (PDW-U1 の場合)	オプティカルヘッドのシーク動作時間の累積 (1 時間単位)
Seek Counter (PDW-U2 の場合)	オプティカルヘッドのシーク動作回数の累積
Spindle Running Hours	スピンドルが回転している時間の累積 (1 時間単位)
Loading Counter	ディスクの挿入回数の累積

最新の情報に更新するには

表示メニューから「更新」を選択します。

関連項目

基本情報表示画面

アラームステータス画面

ドライバアラームログ画面

アラームステータス画面（機器情報メニュー）

現在選択されている PDW-U1 または PDW-U2 で発生したアラームが表示されます。この情報は次のアラームが発生するか、PDW-U1 または PDW-U2 の電源を切るまで保持されます。

XDCAM ドライブ

接続されている PDW-U1 または PDW-U2 のモデル名、シリアル番号が表示されます。リストの一番右には、Eject アイコンが表示されます。

ここで選択した PDW-U1 または PDW-U2 で発生したアラーム情報が右側に、ハードウェアに関する情報が下側に表示されます。

ドライブ情報

項目名	表示内容
モデル名	選択されているドライブの名称（PDW-U1 または PDW-U2）
シリアル番号	選択されている PDW-U1 または PDW-U2 のシリアル番号
ファームウェアバージョン	選択されている PDW-U1 または PDW-U2 のファームウェアバージョン

アラームコード

選択された PDW-U1 または PDW-U2 に発生しているアラームの番号が表示されます。

詳細

選択された PDW-U1 または PDW-U2 に発生しているアラームの内容や対応方法が表示されます。

アラームの内容については、アラーム一覧をご覧ください。

最新の情報に更新するには

表示メニューから「更新」を選択します。

関連項目

基本情報表示画面

Hours Meter（デジタル時間計）表示画面

ドライバアラームログ画面

ドライバアラームログ画面（機器情報メニュー）

ドライバーに発生したアラームログが表示されます。

日付

アラームログを表示したい日付を選択します。

▼をクリックすると、ログのある日付がリスト形式で表示されます。

アラームログ

選択した日のアラーム一覧が表示されます。

デフォルトでは最新日のアラームが表示されます。各列をクリックすると、アラームを並べ替えることができます。

[エクスポート] ボタン

アラームログを任意のフォルダーにエクスポートします。

このボタンをクリックし、表示される画面でエクスポート先のフォルダーを指定してから [保存] ボタンをクリックすると、複数のログファイルが ZIP ファイルに圧縮され、指定したフォルダーに保存されます。

最新の情報に更新するには

表示メニューから「更新」を選択します。

関連項目

基本情報表示画面

Hours Meter (デジタル時間計) 表示画面

アラームステータス画面

ユーザー設定画面 (セットアップメニュー)

ご注意

設定の変更を有効にするには、ディスクを入れ直す必要があります。

PDW-U1 または PDW-U2 に関する以下の項目を設定します。

表の設定の欄で下線が引いてある値が、工場出荷時の設定です。

項目名	サブ項目名 / 設定
所有者情報	<p>SMPTE 330M で定められた UMID (Unique Material Identifier) の所有者情報を設定するかどうかを選択します。</p> <p>オフ : 所有者情報を設定しない。</p> <p>オン : 所有者情報を設定する。</p>
	<p>国名コード</p> <p>ISO 3166-1 で定義されている短縮文字 (4 バイトのアルファベット文字列および数字) を入力します。</p> <p>[...] ボタンをクリックして開くダイアログで国名を選択し、[3 文字] または [2 文字] ボタンをクリックすると、クリックしたボタンに対応する文字数の国名コードを入力することができます。</p>
	<p>組織コード</p> <p>各組織で運用する組織コード (4 バイトのアルファベット文字列および数字) を入力します。ただし、所有者情報が反映されるのは、拡張 UMID が元素材に存在しない場合に限りです。</p> <p>ご注意</p> <p>組織コードは SMPTE 登録局に申請して、初めて使用できるものです。取得していない場合は、「00」を入力することを原則とし、その他の任意の文字列を入力することは禁則となっています。特定の組織に属さないフリーランスの場合は、「~」を入力します。</p>
	<p>ユーザーコード</p> <p>ユーザーの識別用に 4 バイトのアルファベット文字列および数字を入力します。</p> <p>ユーザーコードは、各々の組織においてローカルに登録されます。一般的に登録はされません。</p> <p>運用の方法は、ユーザーに任されています。</p> <p>ご注意</p> <p>組織コードを入力していない場合は、ユーザーコードを入力できません。</p>
ファイル名形式	<p>クリップおよびクリップリストの名前の形式を指定します。(任意の名前を付けたファイルの使用を可能にするかどうかを指定します。)</p> <p>C**** : 標準形式 (任意の名前を付けたファイルの使用は不可)</p> <p>free : 任意形式 (任意の名前を付けたファイルの使用が可能)</p> <p>制限事項について、詳しくはファイル操作の項目をご覧ください。</p>

項目名	サブ項目名 / 設定
TC MODE	<p>クリップが持つタイムコードの振りかたを指定します。初めて書き込む入力 MXF の TC の先頭は、強制的に 00:00:00:00 になります。</p> <p>入力 MXF の TC を保存する : クリップが持つタイムコードをそのまま使用する。</p> <p>連続的に振り直す : タイムコードが連続するように、タイムコードを生成して振り直す。</p>
DF MODE	<p>TC MODE で「連続的に振り直す」を選択したとき、タイムコードのフレームモードを指定します。</p> <p>Drop Frame : ドロップフレーム (フレームレートの補正を行う)</p> <p>Non Drop Frame : ノンドロップフレーム (フレームレートの補正を行わない)</p>
NON-AUDIO INPUT	<p>オーディオ信号の記録モードをチャンネルごとに設定します。</p> <p>オフ : オーディオストリームをそのまま記録する。</p> <p>オン : オーディオ信号をデータとして記録する。この場合は、データとして記録するチャンネル (1/2ch、3/4ch、5/6ch、7/8ch) を指定する (複数指定可)。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> このチェックボックスをオンにした場合は、いずれかのチャンネルを指定する必要があります。すべてのチャンネルをオフにしたままにすると、[OK] または [適用] ボタンをクリックしたときに警告メッセージが表示されます。 機器によっては、ここで指定したチャンネルがオーディオデータとして認識されず、正常に音声再生されないことがあります。
Data Item を出力する	<p>MXF ファイルに付加されている Data Item Out 信号を出力するかどうかを設定します。</p> <p>オフ : Data Item Out 信号を出力しない。</p> <p>オン : Data Item Out 信号を出力する。</p>
PROAV フォルダを隠す	<p>PROAV フォルダー以下のファイルを表示するかどうかを設定します。</p> <p>オフ : PROAV フォルダー以下のファイルを表示する。(隠しファイル属性を無効にする。)</p> <p>オン : PROAV フォルダー以下のファイルを表示しない。(隠しファイル属性を有効にする。)</p>
ドライブを記録禁止にする	<p>PDW-U1 または PDW-U2 を記録禁止にするかどうかを設定します。</p> <p>オフ : 記録禁止にしない。</p> <p>オン : 記録禁止にする。</p>

項目名	サブ項目名 / 設定
混在記録を禁止する	<p>MPEG HD/IMX/DVCAM の混在記録を禁止するかどうかを設定します。 禁止した場合、混在記録ディスクは読み取り専用として扱われます。</p> <p>オフ：MPEG HD/IMX/DVCAM の混在記録を禁止しない。 オン：MPEG HD/IMX/DVCAM の混在記録を禁止する。</p> <p>ご注意 XAVC HD Intra のクリップが記録されている場合、他の素材（MPEG HD/IMX/DVCAM）の混在記録はできません。</p>

参考：フォーマット混在記録対応について

フレーム周波数グループが一致する場合に限り、同一ディスク内に記録フォーマットが異なるクリップを記録したり、書き込んだりすることができます¹⁾。本機が対応しているシステム周波数は、次表のようなフレーム周波数グループに分類されます。

1) システム周波数、ビデオ解像度、ビデオコーデック / ビットレート、またはオーディオチャンネル数 / ビット数のいずれかが一致しないとき、記録フォーマットが異なるクリップと見なされます。

フレーム周波数グループ	システム周波数
59.94Hz	59.94P
	59.94i
	29.97P
50Hz	50P
	50i
	25P
23.98Hz	23.98P

本機をフォーマット混在記録モードにすると、たとえば、HD422 クリップと HD420SP クリップを 1 枚のディスクに記録することができます。

ご注意

記録フォーマットが異なるクリップは連続再生できないことがあります。

設定の変更を有効にするには

1. [適用] ボタンをクリックする。
「設定が変更されました。ディスクを入れなおしてください。」というメッセージが表示されます。

ご注意

[適用] ボタンをクリックする前に別の画面に切り換えると、設定の変更は破棄されます。

2. ディスクを入れ直し、[OK] ボタンをクリックする。
設定の変更が有効になります。

設定をデフォルト値に戻すには

1. [リセット] ボタンをクリックする。
「表示内容を、工場設定に戻しますか?」というメッセージが表示されます。

2. [OK] ボタンをクリックする。
「工場設定に戻しました。表示内容を反映させるためには、適用ボタンを押してください。」というメッセージが表示されます。
3. [OK] ボタンをクリックしてメッセージを消してから、[適用] ボタンをクリックする。
「設定が変更されました。ディスクを入れなおしてください。」というメッセージが表示されます。
4. ディスクを入れ直し、[OK] ボタンをクリックする。
設定がデフォルト値に戻ります。

ボリューム修復画面（ディスク操作メニュー）

XDCAM Drive Monitor が起動しているときは、PDW-U1 または PDW-U2 に挿入されたディスク上のボリュームが異常だった場合に、次のタイミングでボリュームの自動修復が行われます。

- 修復が必要なディスクが挿入されたドライブを PC に接続したとき
- PC に接続中のドライブに、修復が必要なディスクを挿入したとき

XDCAM Drive Monitor が起動していないときは、ボリューム修復画面で修復を手動で実行できます。ボリューム修復画面には、PDW-U1 または PDW-U2 に関する以下の情報が表示されます。

XDCAM ドライブ

接続されている PDW-U1 または PDW-U2 のモデル名、シリアル番号が表示されます。リストの一番右には、Eject アイコンが表示されます。

ここで選択した PDW-U1 または PDW-U2 について、ハードウェアに関する情報が下側に、挿入されているディスクの情報が右側に表示されます。

ドライブ情報

項目名	表示内容
モデル名	選択されているドライブの名称（PDW-U1 または PDW-U2）
シリアル番号	選択されている PDW-U1 または PDW-U2 のシリアル番号
ファームウェアバージョン	選択されている PDW-U1 または PDW-U2 のファームウェアバージョン

ディスク情報

項目名	表示内容
メディアタイプ	選択されている PDW-U1 または PDW-U2 に挿入されているディスクの種類
マウント状態	選択されている PDW-U1 または PDW-U2 のマウント状態（ディスクの状態を含む）
記録操作	選択されている PDW-U1 または PDW-U2 への書き込みの可否。書き込みできない場合はその理由
詳細	マウント状態の詳細

異常が検出されたボリュームを手動で修復するには

1. [XDCAM ドライブ] から、ボリュームの修復を行う PDW-U1 または PDW-U2 を選択する。

2. 選択した PDW-U1 または PDW-U2 にディスクが挿入されていることを確認し、[開始] ボタンをクリックする。

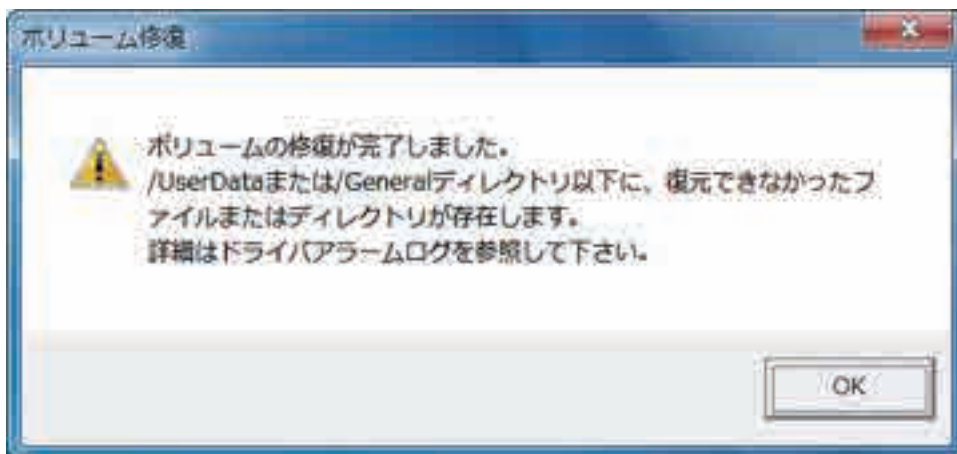
修復開始の確認ダイアログが表示されます。

3. [OK] ボタンをクリックする。

ボリュームの修復が開始され、進捗状況を示すプログレスバーが表示されます。終了すると結果を示すメッセージが表示されます。

ご注意

- PDW-U1 または PDW-U2 以外の XDCAM 機器で破損したディスクは、本ソフトウェアで修復することはできません。
- PDW-U1 または PDW-U2 で破損したディスクは、PDW-U1 または PDW-U2 以外の XDCAM 機器で修復することはできません。
- ボリュームの修復中は、ディスクを取り出したり、PDW-U1 または PDW-U2 本体およびコンピューターの電源を切ったり、USB ケーブルの抜き差しをしたり、ユーザーを切り替えたりしないでください。
- ボリューム修復完了時に、下記のダイアログボックスが表示されることがあります。ディスクは読み書きとともに使用可能ですが、/UserData および /General ディレクトリ以下に復元できなかったファイルまたはディレクトリが存在します。詳細はドライバアラームログを参照して下さい。



関連項目

フォーマット画面

ファイナライズ画面

ボリューム修復時のエラーコード

フォーマット画面 (ディスク操作メニュー)

PDW-U1 または PDW-U2 に関する以下の情報が表示されます。

XDCAM ドライブ

接続されている PDW-U1 または PDW-U2 のモデル名、シリアル番号が表示されます。リストの一番右には、Eject アイコンが表示されます。

ここで選択した PDW-U1 または PDW-U2 について、挿入されているディスクの情報が右側に表示されます。

ドライブ情報

項目名	表示内容
モデル名	選択されているドライブの名称 (PDW-U1 または PDW-U2)
シリアル番号	選択されている PDW-U1 または PDW-U2 のシリアル番号
ファームウェアバージョン	選択されている PDW-U1 または PDW-U2 のファームウェアバージョン

ディスク情報

挿入されたディスクの種類	項目名	表示内容
共通	メディアタイプ	選択されている PDW-U1 または PDW-U2 に挿入されているディスクの種類
	マウント状態	選択されている PDW-U1 または PDW-U2 のマウント状態 (ディスクの状態を含む)
	記録操作	選択されている PDW-U1 または PDW-U2 への書き込みの可否。書き込みできない場合はその理由
Rewritable ディスク (またはディスク未挿入)	空き容量 (RT)	リアルタイムデータ (MXF ファイル) の記録可能容量 (時分単位)
	空き容量 (NRT)	ノンリアルタイムデータ (MXF 以外のファイル) の記録可能容量 (バイト単位)
	ReWrite 回数	ディスクへの書き込み回数
4 層 WO ディスク	空き容量 (時間)	記録可能容量 (時分単位)
	空き容量 (サイズ)	記録可能容量 (バイト単位)
	追記リソース	ディスクに追記可能な空き領域のめやす <ul style="list-style-type: none"> なし：ディスクに追記可能な空き領域がない (追記できない) 状態 残少：ディスクに追記可能な空き領域の残りが少ない状態 充分：ディスクに追記可能な空き領域が充分にある状態

ディスクをフォーマットするには

- [XDCAM ドライブ] から、ディスクのフォーマットを行う PDW-U1 または PDW-U2 を選択する。
- 選択した PDW-U1 または PDW-U2 にディスクが挿入されていることを確認し、[開始] ボタンをクリックする。
フォーマット開始の確認ダイアログが表示されます。
- [OK] ボタンをクリックする。
ディスクのフォーマットが開始され、進捗状況を示すプログレスバーが表示されます。終了すると結果を示すメッセージが表示されます。

ご注意

ディスクのフォーマット中は、ディスクを取り出したり、PDW-U1 または PDW-U2 本体およびコンピューターの電源を切ったり、USB ケーブルの抜き差しをしたり、ユーザーを切り替えたりしないでください。

関連項目

ボリューム修復画面

ファイナライズ画面

ディスクフォーマット時のエラーコード

ファイナライズ画面（ディスク操作メニュー）

PDW-U1 または PDW-U2 に関する以下の情報が表示されます。

ご注意

- 4層 WO ディスクへの書き込みおよびファイナライズは、PDW-U2 のみ対応しています。PDW-U1 の接続時この画面は表示されますが、操作はできません。
- 一度ファイナライズ処理を行ったディスクは読み取り専用ディスクとなり、追記できません。

XDCAM ドライブ

接続されている PDW-U1 または PDW-U2 のモデル名、シリアル番号が表示されます。リストの一番右には、Eject アイコンが表示されます。

ここで選択した PDW-U1 または PDW-U2 について、ハードウェアに関する情報が下側に、挿入されているディスクの情報が右側に表示されます。

ドライブ情報

項目名	表示内容
モデル名	選択されているドライブの名称 (PDW-U1 または PDW-U2)
シリアル番号	選択されている PDW-U1 または PDW-U2 のシリアル番号
ファームウェアバージョン	選択されている PDW-U1 または PDW-U2 のファームウェアバージョン

ディスク情報

挿入されたディスクの種類	項目名	表示内容
共通	メディアタイプ	選択されている PDW-U1 または PDW-U2 に挿入されているディスクの種類
	マウント状態	選択されている PDW-U1 または PDW-U2 のマウント状態 (ディスクの状態を含む)
	記録操作	選択されている PDW-U1 または PDW-U2 への書き込みの可否。書き込みできない場合はその理由
Rewritable ディスク	空き容量 (RT)	リアルタイムデータ (MXF ファイル) の記録可能容量 (時分単位)
	空き容量 (NRT)	ノンリアルタイムデータ (MXF 以外のファイル) の記録可能容量 (バイト単位)
	ReWrite 回数	ディスクへの書き込み回数

挿入されたディスクの種類	項目名	表示内容
4層 WO ディスク (またはディスク未挿入)	空き容量 (時間)	記録可能容量 (時分単位)
	空き容量 (サイズ)	記録可能容量 (バイト単位)
	追記リソース	ディスクに追記可能な空き領域のめやす <ul style="list-style-type: none"> なし：ディスクに追記可能な空き領域がない (追記できない) 状態 残少：ディスクに追記可能な空き領域の残りが少ない状態 充分：ディスクに追記可能な空き領域が充分にある状態

ディスクをファイナライズするには

- [XDCAM ドライブ] から、ディスクのファイナライズを行う PDW-U2 を選択する。
- 選択した PDW-U2 に 4層 WO ディスクが挿入されていることを確認し、[開始] ボタンをクリックする。
ファイナライズ開始の確認ダイアログが表示されます。
- [OK] ボタンをクリックする。
ディスクのファイナライズが開始され、進捗状況を示すプログレスバーが表示されます。終了すると結果を示すメッセージが表示されます。

ご注意

- 挿入されているディスクが Rewritable ディスクの場合、[開始] ボタンは操作できません。
- ディスクのファイナライズ中は、ディスクを取り出したり、PDW-U2 本体およびコンピューターの電源を切ったり、USB ケーブルの抜き差しをしたり、ユーザーを切り替えたりしないでください。

関連項目

ボリューム修復画面

フォーマット画面

ファイナライズ時のエラーコード

ファームウェア更新画面 (ファームウェア更新メニュー)

現在選択されている PDW-U1 または PDW-U2 のファームウェアを更新します。

XDCAM ドライブ

接続されている PDW-U1 または PDW-U2 のモデル名、シリアル番号が表示されます。リストの一番右には、Eject アイコンが表示されます。

ここで選択した PDW-U1 または PDW-U2 について、ハードウェアに関する情報が下側に、ファームウェアのバージョン情報が右側に表示されます。

ドライブ情報

項目名	表示内容
モデル名	選択されているドライブの名称 (PDW-U1 または PDW-U2)
シリアル番号	選択されている PDW-U1 または PDW-U2 のシリアル番号
ファームウェアバージョン	選択されている PDW-U1 または PDW-U2 のファームウェアバージョン

ファームウェアバージョン

項目名	表示内容
現在のバージョン	選択されている PDW-U1 または PDW-U2 の、現在のファームウェアのバージョン
更新後のバージョン	選択されている PDW-U1 または PDW-U2 の、パッケージのファームウェアバージョン

ファームウェアを更新するには

1. [XDCAM ドライブ] から、ファームウェアの更新を行う PDW-U1 または PDW-U2 を選択する。
選択した PDW-U1 または PDW-U2 の現在のファームウェアのバージョンが表示されます。
ファームウェアバージョンよりもパッケージバージョンのほうが新しいことを確認してください。パッケージバージョンのほうが古いと、[更新] ボタンは無効になります。
2. 選択した PDW-U1 または PDW-U2 からディスクを取り出し、[更新] ボタンをクリックする。
ファームウェア更新開始の確認ダイアログが表示されます。
3. [OK] ボタンをクリックする。
ファームウェアの更新が開始され、進捗状況を示すプログレスバーが表示されます。終了すると結果を示すメッセージが表示されます。
4. PDW-U1 または PDW-U2 の電源を入れ直す。

ご注意

- 下位のバージョンへのダウングレードはできません。
- ファームウェアを更新する PDW-U1 または PDW-U2 にディスクが挿入されている状態で更新を開始すると、「ディスクをイジェクトしてください。」というメッセージが表示されます。あらかじめディスクを取り出してから更新を行ってください。
- ファームウェアの更新中は PDW-U1 または PDW-U2 本体およびコンピューターの電源を切ったり、USB ケーブルの抜き差しをしたり、ユーザーを切り替えたりしないでください。
- ファームウェアの更新が終了した際は、PDW-U1 または PDW-U2 の電源を入れ直す必要があります。

ファイル操作

ファイル操作について

ここでは、PDW-U1 または PDW-U2 を USB インターフェースを経由してコンピューターに接続し、ビデオやオーディオなどのデータをファイルとして扱う場合の予備知識について、以下の項目に分けて説明します。

- ディレクトリー構造
- ファイル操作の項目
- ファイル操作の準備
- ファイルの操作

ヒント

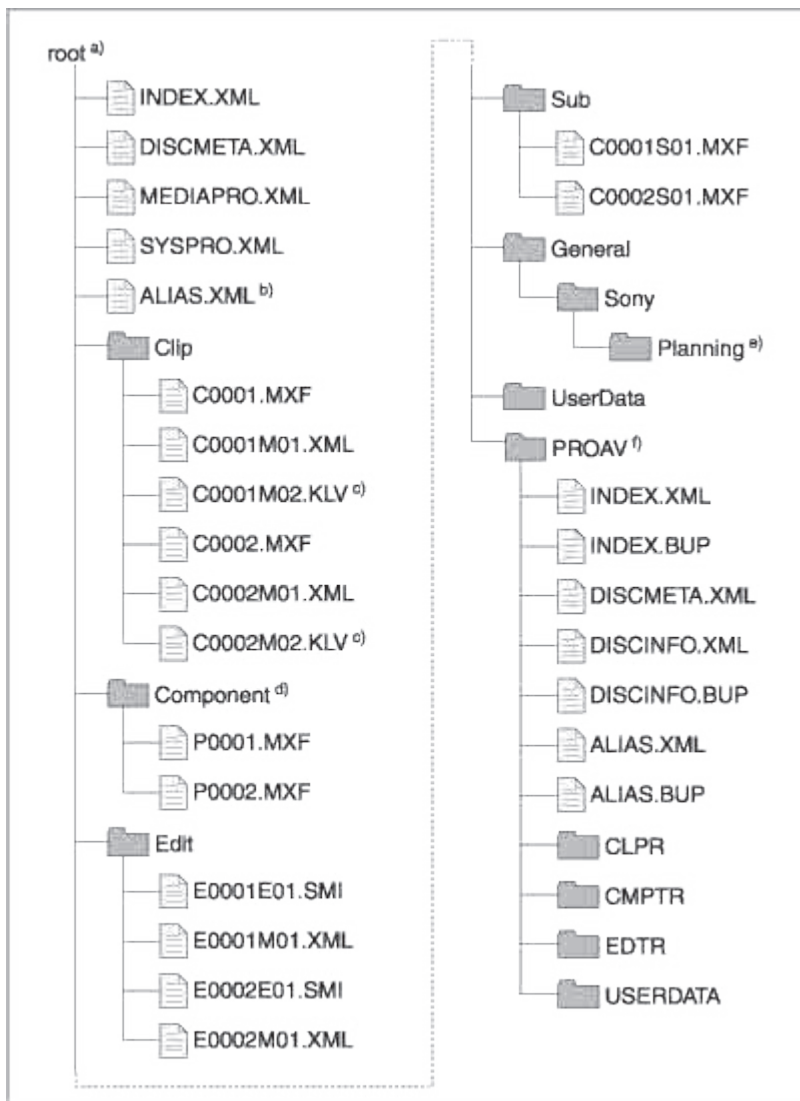
プロフェッショナルディスク上には、ユーザーデータ（XDCAM の AV ファイル以外のファイル）を PC データとして記録することもできます（ユーザーデータ記録モード）。最大で 120GB（4 層 WO ディスク PFD128QLW 使用の場合）のデータ記録が可能で、プロフェッショナルディスクをデータ記録用のメディアとしても使用できます。

ご注意

- 作成可能なファイル数は、1 層ディスク 1 枚に対して最大で 5000、2 層ディスク 1 枚に対して最大で 6000、3 層ディスクまたは 4 層 WO ディスク 1 枚に対して最大で 20000 です（いずれの場合もディレクトリーを含む）。また、作成可能なクリップ数は、1 層ディスクまたは 2 層ディスク 1 枚に対して最大で 300、3 層ディスクまたは 4 層 WO ディスク 1 枚に対して最大で 1200 です。そのため、ディスク残量に余裕があっても書き込みができなくなる場合があります。
- UserData ディレクトリーに記録されたファイルを直接編集・実行しようとする、アプリケーションの種類、設定により、エラーの原因となることがあります。
特に、起動したフォルダー下に一時的な作業領域を作成しようとする種類のアプリケーションのファイルや、実行ファイル形式のファイルの直接実行は行わないでください。

ディレクトリー構造（ファイル操作の予備知識）

コンピューター上で見ることができるディスク内のディレクトリー構造を次図に示します。



a) ルートディレクトリー

b) 本ソフトウェアのユーザー設定画面で「ファイル名形式」が「free」に設定されているときのみ

c) 存在する場合のみ表示

d) PDW-HR1 でボイスオーバー編集を実行すると生成されるディレクトリーとファイル

e) プランニングメタデータを保存するディレクトリー。詳しくは、プランニングメタデータに対応している XDCAM 機器のマニュアルをご覧ください。

f) 本ソフトウェアのユーザー設定画面で「PROAV フォルダを隠す」にチェックが入っているときは非表示

関連項目

ファイル操作について

ファイル操作の項目

ファイル操作の準備

ファイルの操作

ファイル操作の項目（ファイル操作の予備知識）

ここでは、ファイル操作項目の実行の可否について、それぞれのディレクトリーに格納されているファイルごとに表に示します。

ルートディレクトリー

ファイル名	内容	操作項目				
		読み出し	書き込み	名前の変更	作成	削除
INDEX.XML	ディスク内のAV素材の管理用データが記述されている。	可	不可	不可	不可	不可
DISCMETA.XML	ディスクの属性を示すメタデータが記述されている。	可	可 ^{a)}	不可	不可	不可
MEDIAPRO.XML	ディスク内のAV素材の一覧、基本属性、関連情報、およびアクセス手段が記述されている。	可	不可	不可	不可	不可
SYSPRO.XML	機器のシステム設定情報、およびメニュー設定情報が記述されている。	可	不可	不可	不可	不可
ALIAS.XML ^{b)}	クリップやクリップリストに任意の名前を付けるための変換テーブルが記述されている。	可	不可	不可	不可	不可
その他のファイル	上記以外のファイル	—	不可	—	不可	—

a) XDCAM 対応機器が書き込み可能なファイルのみ

b) 本ソフトウェアのユーザー設定画面で「ファイル名形式」が「free」に設定されているときのみ

ご注意

- ルートディレクトリー内にディレクトリーを作成することはできません。
- ルートディレクトリー内のディレクトリー (Clip、Component、Edit、Sub、UserData、PROAV、および General) の削除、および名前の変更はできません。

Clip ディレクトリー

ファイル名	内容	操作項目				
		読み出し	書き込み	名前の変更	作成	削除
C*.MXF ^{a)}	記録時に作成されるクリップファイル (MXF ファイル) * : 0001 ~ 9999	可	可 ^{b) c)}	可 ^{d)}	可 ^{b)}	可 ^{e)}
C*M01.XML ^{a)}	C*.MXF ファイル作成時に自動生成されるメタデータファイル * : 0001 ~ 9999	可	可 ^{f)}	不可 ^{g)}	不可 ^{h)}	不可 ⁱ⁾
その他のファイル	上記以外のファイル	—	不可	—	不可	—

a) 「C」の部分に任意の名前が付けられたファイルの扱いが可能

b) XDCAM 対応機器が書き込み可能で、かつディスクの記録済み部分のフォーマット (システム周波数) と記録フォーマット (MPEG HD/IMX/XAVC/DV およびオーディオチャンネル数) が一致しており、2 秒以上のファイルのみ

c) 上書きは不可

d) 本ソフトウェアのユーザー設定画面で「ファイル名形式」が「free」に設定されているときのみ

e) 本ソフトウェアの「ドライブを記録禁止にする」にチェックがない状態のとき、任意のクリップの選択削除が可能

f) XDCAM 対応機器が書き込み可能なファイルのみ

- g) C*.MXF ファイルの「C*」の部分を変更すると、「C*」の部分が同じ名前の C*M01.XML ファイルも自動的に変更される
- h) C*.MXF ファイルを作成すると、「C*」の部分が同じ名前の C*M01.XML ファイルが自動的に生成される
- i) C*.MXF ファイルを削除すると、「C*」の部分が同じ名前の C*M01.XML ファイルも自動的に削除される

ご注意

Clip ディレクトリー内にディレクトリーを作成することはできません。

Component ディレクトリー

ファイル名	内容	操作項目				
		読み出し	書き込み	名前の変更	作成	削除
P*.MXF ^{a)}	PDW-HR1 においてボイスオーバー編集実行時に生成されるオーディオクリップファイル(MXFファイル) *: 0001 ~ 9999	可 ^{a)}	可 ^{b) c) d)}	可 ^{e)}	可 ^{b) d)}	可 ^{f)}
その他のファイル	上記以外のファイル	不可	不可	不可	不可	不可

- a) 「P*」の部分に任意の名前が付けられたファイルの扱いが可能
- b) XDCAM 対応機器が書き込み可能で、2 秒以上のファイルのみ
- c) 上書きは不可
- d) 同時に複数のファイルを開くことはできない
- e) 本ソフトウェアのユーザー設定画面で「ファイル名形式」が「free」に設定されているときのみ
- f) 任意のクリップの選択削除が可能

ご注意

Component ディレクトリー内にディレクトリーを作成することはできません。

Edit ディレクトリー

ファイル名	内容	操作項目				
		読み出し	書き込み	名前の変更	作成	削除
E*E01.SMI ^{a)}	クリップリストファイル *: 0001 ~ 0099	可	可 ^{b)}	可	可 ^{c)}	可 ^{d)}
E*M01.XML ^{a)}	E*E01.MXF ファイル作成時に自動生成されるメタデータファイル *: 0001 ~ 0099	可	可 ^{b)}	不可 ^{e)}	不可 ^{f)}	不可 ^{g)}
その他のファイル	上記以外のファイル	—	不可	—	不可	—

- a) 「E*」の部分に任意の名前が付けられたファイルの扱いが可能
- b) XDCAM 対応機器が書き込み可能なファイルのみ、部分書き込みは不可
- c) XDCAM 対応機器が書き込み可能なファイルのみ
- d) 本ソフトウェアの「ドライブを記録禁止にする」にチェックがない状態のとき
- e) E*E01.SMI ファイルの「E*」の部分を変更すると、「E*」の部分が同じ名前の E*M01.XML ファイルも自動的に変更される
- f) E*E01.SMI ファイルを作成すると、「E*」の部分が同じ名前の E*M01.XML ファイルが自動的に生成される
- g) E*E01.SMI ファイルを削除すると、「E*」の部分が同じ名前の E*M01.XML ファイルも自動的に削除される

ご注意

Edit ディレクトリー内にディレクトリーを作成することはできません。

Sub ディレクトリー

ファイル名	内容	操作項目				
		読み出し	書き込み	名前の変更	作成	削除
C*S01.MXF ^{a)}	C*.MXF ファイル作成時に生成されるプロキシ AV データ (MXF ファイル) *: 0001 ~ 9999	可	不可	不可 ^{b)}	不可 ^{c)}	不可 ^{d)}
その他のファイル	上記以外のファイル	—	不可	—	不可	—

a) 「C*」の部分に任意の名前が付けられたファイルの扱いが可能

b) Clip ディレクトリーの C*.MXF ファイルの「C*」の部分を変更すると、Sub ディレクトリーの「C*」の部分と同じ名前の C*S01.MXF ファイルも自動的に変更される

c) Clip ディレクトリー C*.MXF ファイルを作成すると、Sub ディレクトリーの「C*」の部分と同じ名前の C*S01.MXF ファイルが自動的に生成される

d) Clip ディレクトリー C*.MXF ファイルを削除すると、Sub ディレクトリーの「C*」の部分と同じ名前の C*S01.MXF ファイルも自動的に削除される

ご注意

Sub ディレクトリー内にディレクトリーを作成することはできません。

General ディレクトリー

ファイル名	内容	操作項目				
		読み出し	書き込み	名前の変更	作成	削除
任意のファイル		可	可	可 ^{a)}	可	可 ^{b)}

a) ファイル名は UTF-8 で 63 バイト以下 (付けられるファイル名の長さ (拡張子を含む) は、文字種や OS の種類によっては最大 21 文字までに制限されることがあります。)

b) 本ソフトウェアの「ドライブを記録禁止にする」にチェックがない状態のとき

General ディレクトリー内では、ディレクトリーに関する以下の操作を行うことができます。

- ディレクトリーの作成 (General ディレクトリーを含めて 63 階層まで作成可能)
- 作成したディレクトリーの削除および名前の変更

UserData ディレクトリー

ファイル名	内容	操作項目				
		読み出し	書き込み	名前の変更	作成	削除
任意のファイル		可	可	可 ^{a)}	可	可

a) ファイル名に使用できる文字の上限は 63 バイト以下、使用可能な文字コードは UTF-8 (付けられるファイル名の長さ (拡張子含む) は、文字種によっては 21 文字までに制限されることがあります。)

UserData ディレクトリー内では、ディレクトリーに関する以下の操作を行うことができます。

- ディレクトリーの作成 (UserData ディレクトリーを含めて 62 階層まで作成可能)
- 作成したディレクトリーの削除および名前の変更

ご注意

- 作成可能なファイル数は、1 層ディスク 1 枚に対して最大で 5000、2 層ディスク 1 枚に対して最大で 6000、3 層ディスクまたは 4 層 WO ディスク 1 枚に対して最大で 20000 です (いずれの場合もディレクトリーを含む)。また、作成可能なクリップ数は、1 層ディスクまたは 2 層ディスク 1 枚に対して最大で 300、3 層ディスクまたは 4 層 WO ディスク 1 枚に対して最大で 1200 です。そのため、ディスク残量に余裕があっても書き込みができなくなる場合があります。
- UserData ディレクトリーに記録されたファイルを直接編集・実行しようとすると、アプリケーションの種類、設定により、エラーの原因となることがあります。
特に、起動したフォルダー下に一時的な作業領域を作成しようとする種類のアプリケーションのファイルや、実行ファイル形式のファイルの直接実行は行わないでください。

関連項目

ファイル操作について

ディレクトリー構造

ファイル操作の準備

ファイルの操作

ファイル操作の準備

以下の手順で行います。

1. PDW-U1 または PDW-U2 をコンピューターに接続する。
2. PDW-U1 または PDW-U2 とコンピューターの電源をオンにする。
3. 本ソフトウェアのセットアップメニューのユーザー設定画面で、必要に応じて項目を設定する。
4. PDW-U1 または PDW-U2 にディスクを挿入する。

ご注意

PDW-U1 または PDW-U2 の操作について、詳しくは PDW-U1 または PDW-U2 のオペレーションマニュアルをご覧ください。

関連項目

ファイル操作について

ディレクトリー構造

ファイル操作の項目

ファイルの操作

ファイルの操作

ノンリニア編集ソフトウェアで操作する

ご使用になる編集ソフトウェアに付属のマニュアルをご覧ください。

Finder で操作する

Finder を起動し、PDW-U1 または PDW-U2 が任意のドライブに割り当てられていることを確認してください。(ご使用の周辺機器の接続状況によって、割り当てられるドライブは異なります。) PDW-U1 または PDW-U2 に挿入されたディスク内のファイルは、ローカルドライブやネットワークコンピューター上のファイルと同様に操作することができます。

ご注意

ファイルの種類によっては、ファイル操作できない項目があります。詳細はファイル操作の項目をご覧ください。

ディスクの取り出しをコンピューターで行うには

Finder の PDW-U1 または PDW-U2 のアイコンの右にある「取り出し」ボタンをクリックするか、Dock 内の取り出しアイコンにドラッグアンドドロップします。

関連項目

- ファイル操作について
- ディレクトリー構造
- ファイル操作の項目
- ファイル操作の準備

アラーム一覧

アラームステータス画面に表示されるアラームの内容を、PDW-U1 または PDW-U2 の状態別に示します。

- ディスク挿入時のアラーム
- 操作時のアラーム
- センサーおよびドライブに関するアラーム

ディスク挿入時のアラーム

LED ^{a)}	アラームコード	意味	対処方法
0.25 秒間隔で点滅 ^{b)}	51-500 51-02X (PDW-U1) 51-010 (PDW-U2) 51-011 (PDW-U2) 51-020 (PDW-U2) 51-021 (PDW-U2)	ディスク情報を読み込めなかった。	このディスクは使用できません。対応している別のディスクを挿入してください。
1 秒間隔で点滅 ^{c)}	34-509 (PDW-U1) 34-909 (PDW-U2) 34-A09 (PDW-U2)	カートリッジとその中のディスクから識別される品種が合っていない状態で動作している。	対応していないディスクの可能性があるので、ディスクをいったん取り出しご確認ください。
	(以下、PDW-U2 のみ) 54-000 54-001 54-002 54-003	未対応フォーマットのディスクが挿入された。	このディスクが XDCAM で作成されたディスクか確認してください。XDCAM で記録されたディスクの場合、ディスクをいったん取り出し、再度挿入してください。

a) PDW-U1 または PDW-U2 の ERROR/ALARM インジケータ

b) PDW-U1 ではディスクが排出されるまで、PDW-U2 ではディスクを排出後、再挿入するまで点滅します。

c) 異常が解消されるまで点滅します。

関連項目

操作時のアラーム

センサーおよびドライブに関するアラーム

操作時のアラーム

LED ^{a)}	アラームコード	意味	対処方法
1 秒間隔で点滅 ^{b)}	53-500	ディスクの管理領域に空きがない状態で記録が行われようとした。	このディスクには記録できません。ディスクを交換してください。
	(以下、PDW-U2 のみ) 54-200 54-201	Write-Once ディスク ^{c)} の管理領域に異常を検出した。	ディスクをいったん取り出し、再度挿入するか、別のディスクを挿入してください。
	61-000 (PDW-U2)	Write-Once ディスク ^{c)} の管理領域に空きがない状態で記録が行われようとした。	このディスクには記録できません。ディスクを交換してください。

a) PDW-U1 または PDW-U2 の ERROR/ALARM インジケータ

b) PDW-U1 ではディスクが排出されるまで、PDW-U2 では異常が解消されるまで点滅します。

c) 4 層 WO ディスク

関連項目

ディスク挿入時のアラーム

センサーおよびドライブに関するアラーム

センサーおよびドライブに関するアラーム

LED ^{a)}	アラームコード	意味	対処方法
0.25 秒間隔で点滅 ^{b)}	95-50D (PDW-U2)	XDCAM ドライブ ^{f)} の内部温度が異常。	このまま XDCAM ドライブ ^{f)} の使用を継続するとドライブ内部の温度が上昇し、故障や火災につながるおそれがあります。ただちに使用を中止してください。
1 秒間隔で点滅 ^{c)}	37-500 (PDW-U1)	XDCAM ドライブ ^{g)} の内部温度が上昇している。	(PDW-U1 の場合)
	95-50E (PDW-U2) 37-900 (PDW-U2) 37-A00 (PDW-U2)		このまま XDCAM ドライブ ^{h)} の使用を継続するとドライブ内部の温度が上昇し、故障や火災につながるおそれがあります。ただちに使用を中止してください。 (PDW-U2 の場合) XDCAM ドライブ ^{f)} の前面および裏面の通風口をふさぐなど、放熱の妨げになるようなことがないかご確認ください。

LED ^{a)}	アラームコード	意味	対処方法
点灯	3C-500 (PDW-U1)	XDCAM ドライブ ^{h)} の内部に結露が発生している。	ERROR/ALARM インジケータが消灯するまでディスクを挿入しないでください。
0.25 秒間隔で点滅 ^{d)}	52-X0B (PDW-U1) 52-00B (PDW-U2) 52-08B (PDW-U2)	ディスクの指定アドレスを読み込めなかった。	ディスクをいったん取り出し、再度挿入するか、別のディスクを挿入してください。
1 秒間隔で点滅 ^{e)}	6F-E00 6F-E80 (PDW-U2)	ディスク挿入時の調整処理が正しく行われず、記録できない。	記録する場合はディスクをいったん取り出し、再度挿入するか、別のディスクを挿入してください。
0.25 秒間隔で点滅 ^{d)}	6F-E00 (PDW-U1) 6F-E03 (PDW-U2) 6F-E83 (PDW-U2)	ディスク挿入時の調整処理が正しく行われず、記録・再生できない。	ディスクをいったん取り出し、再度挿入するか、別のディスクを挿入してください。

a) PDW-U1 または PDW-U2 の ERROR/ALARM インジケータ

b) 電源を切るまで点滅します。

c) 異常が解消されるまで点滅します。

d) PDW-U1 ではディスクが排出されるまで、PDW-U2 ではディスクを排出後、再挿入するまで点滅します。

e) PDW-U1 ではディスクが排出されるまで、PDW-U2 では異常が解消されるまで点滅します。

f) PDW-U2

g) PDW-U1 または PDW-U2

h) PDW-U1

関連項目

ディスク挿入時のアラーム

操作時のアラーム

エラーコード一覧

ディスク操作時に表示されるエラーコードの内容を、次の操作ごとに示します。

- ボリューム修復時のエラーコード
- ディスクフォーマット時のエラーコード
- ファイナライズ時のエラーコード

ボリューム修復時のエラーコード

XDCAM Drive Monitor が起動しているときは、ボリュームの修復は自動で行われます。XDCAM Drive Monitor が終了しているときは、ボリュームの修復は自動では行われないので、エラーコードの内容を確認し、必要に応じてボリューム修復画面で手動で修復してください。

エラーコード	意味	対処方法
A2000001	ブランクディスク判定の失敗	ディスクが破損しているか、ディスク管理情報が正しく書き込まれていないため、ディスクのアクセスに失敗しました。本ソフトウェアでは、このボリュームを修復できません。 ^{a)}
A2000003	書き込み失敗	ディスクのアクセスに失敗しました。ディスクをいったん取り出し、再度挿入してください。
A2000004	読み出し失敗	
A2000005	ロック失敗	他のプログラムがディスク内のファイルを使用しています。該当するプログラムを終了してから、ディスクをいったん取り出し、再度挿入してください。
A2000006 ~ A20000FF	ディスクアクセス失敗	ディスクが破損しているか、ディスク管理情報が正しく書き込まれていないため、ディスクのアクセスに失敗しました。本ソフトウェアでは、このディスクを修復できません。 ^{a)}
A2010001 ~ A2020604	ディスク内情報取得失敗	ディスク内の情報の取得に失敗しました。ディスクをいったん取り出し、再度挿入してください。
A2100002	ブランクディスク	このディスクはブランクディスクです。フォーマットを行ってください。
A2100003	対象外ディスク	このドライブ ^{b)} では、このディスクを扱うことができません。取り扱い可能なディスクに交換してください（取り扱い可能なディスクについて、詳しくはPDW-U1またはPDW-U2のオペレーションマニュアルをご覧ください。）
A2100004	対象外ドライブ	このドライブはXDCAMドライブ ^{b)} ではありません。本ソフトウェアではこのドライブを扱えません。
A2100005	メディアなし	ディスクが挿入されていません。ディスクを挿入してください。

エラーコード	意味	対処方法
A2100008 ~ A210000A	ボリューム修復不可	記録禁止になっています。以下の内容を確認してから、再度ディスクを挿入してください。 <ul style="list-style-type: none"> • XDCAM XDCAM ドライブ^{b)} で取り扱い可能なディスクであるか (詳しくは PDW-U1 または PDW-U2 のオペレーションマニュアルをご覧ください。) • ディスクの記録禁止タブが「記録禁止」の状態になっていないか (詳しくは PDW-U1 または PDW-U2 のオペレーションマニュアルをご覧ください。) • ユーザー設定画面で [ドライブを記録禁止にする] チェックボックスがオンになっていないか (チェックボックスをオフにしてから「設定の変更を有効にするには」を実行してください。)
A210000B	異常マウント	ディスクを取り出し、再度挿入してください。
A210000E	ボリューム修復失敗	本ソフトウェアではこのディスクを修復できません。 ^{a)}
A2101001 ~ A2105001	ディスクアクセス失敗	ディスクが破損しているか、ディスク管理情報が正しく書き込まれていないため、ディスクのアクセスに失敗しました。本ソフトウェアではこのディスクを修復できません。 ^{a)}
A2106001 ~ A2108101	INDEX との整合性エラー	ディスク管理情報が正しく書き込まれていないため、ディスクのアクセスに失敗しました。本ソフトウェアではこのディスクを修復できません。 ^{a)}

a) ディスク内の記録情報を読み出したい場合は、ソニーのサービス担当者にご相談ください。なお、ディスクの記録状態によっては、サービス対応でも読み出しできないことがあります。あらかじめご了承ください。

b) PDW-U1 または PDW-U2。

関連項目

ボリューム修復画面

ディスクフォーマット時のエラーコード

エラーコード	意味	対処方法
A1000001	ブランクディスク判定の失敗	ディスクが破損しているか、ディスク管理情報が正しく書き込まれていないため、ディスクのアクセスに失敗しました。本ソフトウェアでは、このディスクをフォーマットできません。 ^{a)}
A1000002	フォーマット失敗	ディスクをフォーマットする準備ができていません。しばらく待ってから、もう一度フォーマットを行ってください。
A1000003	書き込み失敗	ディスクのアクセスに失敗しました。ディスクをいったん取り出し、再度挿入して、もう一度フォーマットを行ってください。
A1000004	読み出し失敗	
A1000005	ロック失敗	他のプログラムがディスク内のファイルを使用しています。該当するプログラムを終了してから、もう一度フォーマットを行ってください。
A1000006 ~ A10000FF	ディスクアクセス失敗	ディスクが破損しているか、ディスク管理情報が正しく書き込まれていないため、ディスクのアクセスに失敗しました。本ソフトウェアでは、このディスクをフォーマットできません。 ^{a)}
A1100003	対象外ディスク	このドライブ ^{b)} では、このディスクを扱うことができません。取り扱い可能なディスクに交換してください。(取り扱い可能なディスクについて、詳しくはPDW-U1またはPDW-U2のオペレーションマニュアルをご覧ください。)
A1100004	対象外ドライブ	このドライブはXDCAMドライブ ^{b)} ではありません。本ソフトウェアではこのドライブを扱えません。
A1100005	メディアなし	ディスクが挿入されていません。ディスクを挿入してください。

エラーコード	意味	対処方法
A1100006	フォーマット不可	記録禁止になっています。以下の内容を確認してから、再度フォーマットを行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> • XDCAM ドライブ^{b)} で取り扱い可能なディスクであるか (詳しくは PDW-U1 または PDW-U2 のオペレーションマニュアルをご覧ください。) • ディスクの記録禁止タブが「記録禁止」の状態になっていないか (詳しくは PDW-U1 または PDW-U2 のオペレーションマニュアルをご覧ください。) • ユーザー設定画面で [ドライブを記録禁止にする] チェックボックスがオンになっていないか (チェックボックスをオフにしてから「設定の変更を有効にするには」を実行してください。)
A110000B	異常マウント	ディスクを再挿入してください。フォーマットできていない場合は、もう一度フォーマットを行ってください。

a) ディスク内の記録情報を読み出したい場合は、ソニーのサービス担当者にご相談ください。なお、ディスクの記録状態によっては、サービス対応でも読み出できないことがあります。あらかじめご了承ください。

b) PDW-U1 または PDW-U2。

関連項目

フォーマット画面

ファイナライズ時のエラーコード

エラーコード	意味	対処方法
A3000003	書き込み失敗	ディスクのアクセスに失敗しました。ディスクをいったん取り出し、再度挿入して、もう一度ファイナライズを行ってください。
A3000004	読み出し失敗	
A3000005	ロック失敗	他のプログラムがディスク内のファイルを使用しています。該当するプログラムを終了してから、もう一度ファイナライズを行ってください。

エラーコード	意味	対処方法
A3000006 ~ A30000FF	ディスクアクセス失敗	ディスクが破損しているか、ディスク管理情報が正しく書き込まれていないため、ディスクのアクセスに失敗しました。本ソフトウェアでは、このディスクをファイナライズできません。 ^{a)}
A3100003	対象外ディスク	このドライブ ^{b)} では、このディスクを扱うことができません。取り扱い可能なディスクに交換してください。(取り扱い可能なディスクについて、詳しくはPDW-U1またはPDW-U2のオペレーションマニュアルをご覧ください。)
A3100004	対象外ドライブ	このドライブはXDCAMドライブ ^{b)} ではありません。本ソフトウェアではこのドライブを扱えません。
A3100005	メディアなし	ディスクが挿入されていません。ディスクを挿入してください。
A3100007	ファイナライズ不可	記録禁止になっています。以下の内容を確認してから、再度ファイナライズを行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> • XDCAMドライブ^{b)}で取り扱い可能なディスクであるか (詳しくはPDW-U1またはPDW-U2のオペレーションマニュアルをご覧ください。) • ディスクの記録禁止タブが「記録禁止」の状態になっていないか (詳しくはPDW-U1またはPDW-U2のオペレーションマニュアルをご覧ください。) • ユーザー設定画面で [ドライブを記録禁止にする] チェックボックスがオンになっていないか (チェックボックスをオフにしてから「設定の変更を有効にするには」を実行してください。)
A310000B	異常マウント	ディスクを再挿入してください。ファイナライズできていない場合は、もう一度ファイナライズを行ってください。

エラーコード	意味	対処方法
A310000C ~ A310001F	ディスクアクセス失敗	ディスクが破損しているか、ディスク管理情報が正しく書き込まれていないため、ディスクのアクセスに失敗しました。本ソフトウェアでは、このディスクをファイナライズできません。 ^{a)}
A310100C ~ A31015FF	ディスク管理情報取得失敗	ディスク管理情報が正しく書き込まれていないため、ディスクのアクセスに失敗しました。本ソフトウェアではこのディスクをファイナライズできません。 ^{a)}

a) ディスク内の記録情報を読み出したい場合は、ソニーのサービス担当者にご相談ください。なお、ディスクの記録状態によっては、サービス対応でも読み出しできないことがあります。あらかじめご了承ください。

b) PDW-U1 または PDW-U2。

関連項目

ファイナライズ画面

商標について

- XDCAM、MPEG HD、MPEG IMX、XAVC、DVCAM および Professional Disc ロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- Intel および Intel Core は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- Mac OS は米国およびその他の国で登録されている Apple, Inc. の商標です。